

施策目標に関する中長期的な達成目標と指標(平成25年度に実施する施策)

政策目標8 基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備

施策目標(テーマ)	達成目標	主な成果指標(アウトカム)／活動指標(アウトプット)
1 学術研究の振興	1 大学・大学共同利用機関等における共同利用・共同研究体制等を活用した独創的・先端的基礎研究を推進することにより、我が国の学術研究の発展に貢献する。また、国際的な頭脳循環の実現に向け、国内外の若手研究者を惹きつける研究基盤の整備が強化される。	※大学・大学共同利用機関における独創的・先端的な基礎研究は、新たな学問領域を切り拓く学際的・学融合的分野の総合研究や、継続的な資料・データ収集に基づく調査研究など、長期的な視点を持って推進されるものである。 【成果指標(アウトカム)】 ① 独創的・先端的基礎研究の推進により生まれた成果の状況 (24年度実績:自然科学研究機構国立天文台のアルマ望遠鏡による惑星形成領域での糖類分子の発見。/目標:我が国の学術研究の発展に資するような画期的な成果の創出) ② 最先端研究設備等の利用状況 (実績:国内外の利用件数/目標:利用件数増(設備整備後)) 【活動指標(アウトプット)】 ③ 特別経費(学術研究)による研究事業の進捗状況(特別経費進捗状況報告書における事業毎の4段階評価の平均値) (23年度実績:3.3/目標:毎年度・3以上) ④ 最先端研究設備等の整備状況 (24年度実績:最先端研究基盤事業で22年度に採択された12事業について整備を実施/目標:25年度・拠点が活動を開始し、国内外の若手研究者に広く利用される研究基盤を整備する)
	2 学術研究に関する競争的資金(科学研究費助成事業(科研費))について、人文・社会科学から自然科学までのあらゆる研究分野への幅広い助成を行うとともに、制度改革を着実に進めることにより、優れた研究成果の創出に寄与する。	※学術研究は、真理を探究し、新たな知を創造するものであり、それを支援する施策では、中長期的な視点に立つて研究を進めるものが多く、成果がすぐ現れないことから定量的な指標によって短期的な成果の達成状況を確認することは困難であることに留意が必要。 【成果指標(アウトカム)】 ① 科研費の成果展開事例 (実績:成果展開事例/目標:優れた研究成果の創出への貢献) ② 一般に公開されているデータベースに登録された、科研費による研究の成果へのアクセス数 (24年度実績:129,622千件/目標:毎年度・対前年度比増) ③ 科研費の使いやすさや、基金化の研究現場への影響に関する調査結果(科学技術政策研究所が実施する定点調査) (24年度実績:4.9/目標:毎年度・対前年度比状況改善) 【活動指標(アウトプット)】 ④ 科研費による研究の成果の数 (22年度実績:16,375件/目標:毎年度・対前年度比増) ⑤ 複数年度にわたって研究費が使用できる改革(基金化)の対象となる研究課題の数 (24年度実績:22,710件/目標:毎年度・対前年度比増)
	3 人文・社会科学分野の振興を図るため、人文・社会科学をはじめとする特色ある分野における共同利用・共同研究拠点が整備される。	※学術研究は、真理を探究し、新たな知を創造するものであり、それを支援する施策は、短期的な目標達成よりも、むしろ中長期的な視点に立つて研究を進めるものが多く、成果がすぐ現れないことから定量的な指標を設定することは困難であることに留意が必要。 【成果指標(アウトカム)】 ① 「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」によって発出された論文数(24年度実績:471本/目標:前年度比増) 【活動指標(アウトプット)】 ② 「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」において整備されている拠点における共同利用・共同研究者 (24年度実績:1,888人/目標:毎年度・対前年度比増)
	4 大学独自の研究力強化のための継続的な取組を戦略的に支援し、先端的研究の活性化を促進するとともに、世界で戦える「リサーチ・ユニバーシティ」群を増強する。	※学術研究は、真理を探究し、新たな知を創造するものであり、それを支援する施策では、中長期的な視点に立つて取組を進めるものであり、成果がすぐ現れないことから定量的な指標によって短期的に成果の達成状況を確認することは困難であることに留意が必要。 【成果指標(アウトカム)】 ① 我が国の論文増加率(2000年比) (平成24年度実績:3%/平成29年度目標:6%) 【活動指標(アウトプット)】 ② 支援大学の科研費の獲得状況 (実績:—/目標:毎年度・対前年度比増) ③ 支援大学の国際共著論文比率 (実績:—/目標:毎年度・対前年度比増)

【担当課(関係課)】
 研究振興局 振興企画課
 (研究振興局学術機関課、同学術研究助成課)

【施策の概要】
 研究者の自由な発想に基づく学術研究について、新しい知を生み続ける重厚な知的蓄積を形成することを目指し、萌芽段階からの多様な研究や時流に流されない普遍的な知の探求を長期的視点の下で振興する。

達成手段

達成手段 (事業・税制措置・諸会議等)	23年度 補正後 予算額 (千円)	24年度 補正後 予算額 (千円)	25年度 当初予 算額 (千円)	達成手段の概要	行政事業 レビュー シート 番号	関連する 指標	担当課
国立大学法人施設整備 (文教施設費)	<112,947,414>	<271,402,076> (うち復興特会(文科省)43,527,190)	<58,497,208> (うち復興特会(文科省)12,785,320)	国立大学法人が行う施設・設備の整備及び不動産の購入に要する経費に対して補助を行い、もって大学の教育研究に対する国民の要請にこたえとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図ることを目的とする。	0129 0130	学術研究の振興	文教施設企画部 計画課
教育研究力強化基盤整備費	<5,772,000>	<4,300,000>	<4,500,000>	様々な場面で活躍できる人材の養成やイノベーションを産む研究活動の推進等を確実に実施するため、国立大学が有する教育研究基盤の整備に重点投資することで国立大学の教育力・研究力の強化を図る。 上記目的を達成するため、以下の施設等整備を実施するために必要な経費の補助(定額補助)を行う。 ①新たな社会ニーズに対応した教育研究組織整備に伴う基盤整備 ②質の高い教育研究の実施に向けた教育研究内容の改善・充実に伴う基盤整備 ③国立大学の機能別分化の推進に伴う基盤整備 ④その他国立大学の機能強化・充実に伴う基盤整備	0153	学術研究の振興	国立大学法人支援課
国立大学法人船舶建造に必要な経費	<1,779,666>	<3,500,000>	<3,229,000>	国立大学法人の事業運営に資するため、海上における実地の教育研究に必要な船舶の建造に係る経費を補助することにより、商船学、水産学など海上における実地の教育研究が不可欠な分野の基盤の整備を図り、実践的な人材養成及び高度な学術教育を推進する。 平成24年度から平成25年度にかけて建造する北海道大学「おしよ丸」は、昭和58年建造で老朽化が進行し、甲板機器、機関部主機関、船内配管などに不具合がたびたび発生し、安全性の問題があることから、代船の建造は不可欠な状況であり、安全に教育・調査を行うため実施する。	0144	学術研究の振興	高等教育局 専門教育課
国立大学法人運営費交付金に必要な経費	<1,209,379,578>	<1,131,765,940> (うち特別会計(復興庁)5,654,849)	<1,080,246,793> うち特別会計(復興庁)1,060,713	国立大学法人運営費交付金は、一定のルールの下、国立大学法人が行う教育研究の確実な実施に必要な支出額及び授業料や附属病院収入等の自己収入額を見積もり、交付額を算定している。 国立大学法人運営費交付金は、国立大学が教育研究を実施する上で必要となる最も基盤的な部分である「一般運営費交付金」、各大学の個性・特色ある取組を支援する「特別運営費交付金」、退職手当等毎年度義務的に発生する経費に対応する「特殊要因運営費交付金」、附属病院の一般診療活動に対応する「附属病院運営費交付金」の4つに区分される。 なお、交付した運営費交付金は、人件費・物件費等の区分を設けず「渡し切りの交付金」として措置するとともに、受託研究収入などの外部資金獲得等により増収が図られた場合に交付金を減額せず、各大学の増収努力を考慮するなど、国立大学における教育研究の特性に配慮している。	0145	1-① 1-③	高等教育局 国立大学法人支援課 研究振興局 学術機関課
学術研究機関調査支援事業	4,212	4,212	4,212	大学共同利用機関法人、国立大学法人の附置研究所及び研究施設等へ職員等を派遣し、研究活動状況を調査する。また、各学術研究支援組織の代表者が参加する会議等へ職員等を派遣し、実施する。	0218	学術研究の振興	復興庁 研究振興局 学術機関課
科学官の運営等	33,854	31,985	31,878	専門的知見を有する大学等の研究者を科学官、学術調査官として採用し、研究現場の実態に即した施策の企画・実施により我が国の学術研究を振興する。	0219	学術研究の振興	研究振興局 振興企画課
科学研究情報発信基盤の強化	13,278	13,278	10,195	科学研究情報発信基盤の強化に資するため、有識者の参画を得て、大学等の教育研究活動を支える重要な基盤である情報基盤の整備改善の在り方を検討するとともに、当該検討の基礎としても活用される科学技術情報発信基盤の実態を把握する。	0220	学術研究の振興	研究振興局 情報課
最先端研究開発戦略的強化費補助金	17,500,000	10,050,000	200,000	① 国内外の若手研究者を惹きつける研究基盤の整備を強化・加速するため、研究ポテンシャルが高い研究拠点において、最先端の研究成果の創出が期待できる設備を整備するとともに、運用に必要な支援を行う。 ② 最先端研究開発支援プログラムの対象となる30の中心研究者・研究課題の研究開発を一層加速・強化するため、国際シンポジウム等最先端研究開発支援プログラム全般及び当該中心研究者・研究課題の研究内容を広く公開する活動に対して助成を行う。 ※なお、25年度当初予算額200,000千円は②に係る予算である。	0221	1-② 1-④	研究振興局 振興企画課
科学研究費助成事業(科研費)	263,371,582	256,666,419	238,195,696	人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする競争的資金であり、ピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)により、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うもの。	0222	2-①~ ⑤	研究振興局 学術研究助成課

特色ある共同研究拠点の整備の推進事業	357,000	321,300	320,936	大臣認定を受けた共同利用・共同研究拠点を対象に、スタートアップのための初期投資について支援し、共同利用・共同研究拠点を量的・質的に拡充することを通じて、研究分野全体の研究水準の向上と異分野融合による新たな学問領域の創出を図り、我が国の学術研究の発展を図る。	0223	3-①、 ②	研究振興局 学術機関課
国立大学法人施設整備(大型特別機械整備費(最先端等))	<3,765,263>	<68,851,203>	<3,889,535>	国立大学法人等において、先端的・独創的な研究に必要な不可欠な研究設備のうち、既存の経費(国立大学法人運営費交付金等)や競争的資金では整備が不可能な大型で最先端の研究設備について、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえた上で、国立大学法人等に補助金を交付する。	0157	1-①	研究振興局 学術機関課
日本学士会会員年金の支給等に必要な経費	436,000	446,311	434,660	学術上功績顕著な科学者を優遇するための機関として、学術の発達に寄与するため必要な事業を実施。	0224	学術研究の振興	研究振興局 振興企画課
研究大学強化促進費	-	-	6,410,073	世界水準の優れた研究大学群を増強するため、「研究大学強化促進費」を創設し、世界トップレベルとなることが期待できる大学に対し、エビデンスに基づき、研究支援人材の確実な配置など集中的な研究環境改革を支援・促進。	25年度 新規事業 0021	4-①~ ③	研究振興局 学術研究助成課

(参考)関連する独立行政法人の事業

事業	23年度 補正後 予算額 (千円)	24年度 補正後 予算額 (千円)	25年度 当初予 算額 (千円)	達成手段の概要	行政事業 レビュー シート番 号	関連する 指標	担当課
独立行政法人日本学術振興会運営費交付金に必要な経費	<29,229,937>の内数	<29,167,028>の内数	<29,168,967>の内数	学術の振興を図るため、学術研究の助成、研究者の養成のための資金の支給、学術に関する国際交流の促進等の事業を実施。	0187	1-②、 ④ 2-①~ ⑤	研究振興局 振興企画課